

鹿児島県離島振興課御中
鹿児島県広報課御中
鹿児島県観光交流局観光課御中
鹿児島県地域振興局熊毛支庁御中

発信

子々孫々の口永良部島を夢見るえらぶ年寄り組

(通称、えらぶ年寄り組) 代表 後藤 利幸 <広報担当 山口英昌>

平素から、口永良部島の振興にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

鹿児島県ホームページを拝見しました。

ホームページの中で、口永良部島の紹介方法、および記載に関わって、下記のお願いや、お尋ねがあります。

(1) 県政情報ページ、「かごしまの島々の紹介」の項で、
1) 屋久島と口永良部島が「屋久島・口永良部島」とされています。できれば、口永良部島（屋久島町）として、独立していただく訳にはいかないでしょうか？

2) 「屋久島・口永良部島」の項では、約15の項目がありますが、口永良部島の紹介は3カ所にとどまっております。増やしていただければありがたいのですが。あるいは、「口永良部島ポータルサイト*」へのリンクを張っていただけないでしょうか。

(*は、屋久島町公式ホームページのトップ右側に、「口永良部島の紹介」のバナーから閲覧していただけます)。

(2) 地域情報のページで、
種子島・屋久島及びいぶすき広域地域の旅行商品を対象とした助成の項があります。
この場合にも、口永良部島も対象とされていることは存じますが、注釈にでも口永良部島が含まれることを示していただけないでしょうか？

(3) 周遊パンフレット「たねやくガイド」
パンフレットを入手しておりませんので分りかねますが、鹿児島県のホームページ上の写真をみると、「屋久島」とあります。
ここでも、口永良部島の存在感がありません。おそらくは、屋久島は、屋久島町を意味していると存じますが、このパンフの表紙に小さくでも口永良部島の名前があると、観光客に対する宣伝効果があるのですが如何でしょうか。

(4) 鹿児島県の天然記念物の項
エラブオオコウモリの項目で、「口永良部島ポータルサイト」へリンクしていただけないでしょうか。「魅力あふれる口永良部島」の項でのリンクがあればと思いますが。

(5) 地域情報で、
「魅力あふれる口永良部島」の項があります。
1) 「かごしまの島々の紹介」の項とのリンクができないのでしょうか。
また、「口永良部島ポータルサイト」へリンクしていただけないでしょうか。
2) 霧島屋久国立公園に編入とありますが、名前が変更された紹介がありません。
3) 記事の変更や口永良部島の紹介などを、
すべて県にやっていただきたい・・・と云うわけではありません。地元ホームページにリンクしていただければ、自助努力をやります・・・と云う趣旨です。

(6) 「本物。の旅かごしま」のページで
1) 観光情報のページで、

エリアや温泉で検索しましたが、口永良部島の記述は見つかりませんでした。

2) 「学校・法人の方へ」のページがありますが、このページでも、口永良部島の情報は、出てきません。

口永良部島は、登山して体験できる活火山があり、天然記念物のエラブオオコウモリやシダジイの森、シュノーケリングで体験できる海があります。修学旅行や、自然体験の学習旅行、環境の演習サイトとして、最適の場所です。

このページでも、口永良部島をご紹介いただけないでしょうか。

3) 上記に関して、

学生さんを、受け入れたくても、受け入れ施設や体制が未整備です。このあたりを地元で体制を整えるには、県のどの課に相談すれば良いのでしょうか？離島振興課でしょうか？

上記のお願いの趣旨

屋久島と云えば屋久島だけが強調され、口永良部島は陰に隠れがちです。

確かに、県や屋久島町にとっては、屋久島が最重要な観光資源であり、口永良部島は観光客も少ない一集落かも知れません。しかし、離島である屋久島が、さらに離島である口永良部島とともに町を構成している点が、屋久島町にユニークさをもたらしています。口永良部島は、島全体が屋久島国立公園に含まれています。島には2次林とはいեսダジイの原生林が広がり、絶滅危惧種で天然記念物のエラブオオコウモリが生息しています。また、文化的にも、縄文遺跡や室町時代にさかのぼる城跡があったり、良港があることから、古くより琉球航路の避難港であったり、島津藩の貿易拠点が置かれたり、本土のカツオ漁の前線基地となるなど、興味深い歴史があります。また、屋久島町は、エコパークの延長申請にともなって、口永良部島を加えようとしています。

このように、屋久島とはひと味違う観光資源といえる口永良部島の存在を、多くの人々に知ってもらうためには、様々な機会に、屋久島町には屋久島だけでなく、口永良部島があることを強調していただきたいのです。

すこしでも口永良部島への観光客が増加するならば、不採算航路（フェリー太陽）の改善や、口永良部島の自立の一助ともなり、県や屋久島町にとって負担軽減にもつながります。ネット上での工夫は、費用の掛からない離島振興の一策ではないでしょうか。

ご一考、お答えいただければ幸いです。
